

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	本邦における再発子宮体がんの実態と孤立性再発に対する局所療法の有効性の検討
受付番号	5198
研究機関長	鈴木敬一郎（兵庫医科大学学長）
研究責任者氏名	笹野智之
研究期間	2025年11月26日 から 2027年3月31日
研究組織	多施設共同研究（JGOG組織） 研究代表者 がん研有明病院 温泉川真由
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。 疾患名：2015年1月1日から2017年12月31日に子宮体がん初回治療を受けた患者さん 診療科名等：産科婦人科学講座 ----- 受診日：2015年1月1日から2025年11月30日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input type="checkbox"/> その他（ ） 診療の過程で取得した情報のみを外部の研究代表者に提供します。
研究目的・意義	（目的・意義） 限局した（一か所あるいは少数か所の）再発子宮体がんに対して、手術、放射線治療、化学療法のどれを選択するかは定まっていません。特に本邦では欧米と異なり術後補助療法として化学療法がおこなわれるため、本邦での適切治療法を決定する必要があります。そのため、過去に治療をされた患者さんの経過を検討し、どの治療法が良かったのかを検討します。この結果は、今後前向きに検討する（前向き臨床試験）ための貴重なデータとなります。
研究の方法	（研究の方法・手順） 2015年1月1日から2017年12月31日までに子宮体がん初回治療を受けた患者さんのカルテから下記の情報を抽出して解析します。 年齢、手術状況、進行期分類、手術情報、組織診断、治療開始日、化学療法、放射線療法開始日、治療法、再発の有無、2025年11月30日までの最終確認日の

	<p>状態。</p> <p>また、再発した患者さんからは下記情報を追加します。</p> <p>再発確認日、PS、併存症、身長、体重、再発部位、大きさ、腹膜播種・腹水の有無、再発後治療情報：放射線治療の有無、手術療法の有無、化学療法の有無、ホルモン療法の有無、化学療法の内容、化学療法の効果、ホルモン療法の内容</p>
個人情報の取扱い	<p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。</p>
本研究に関する連絡先	<p>診療科名等：産科婦人科</p> <p>担当者氏名：笹野 智之</p> <p>連絡先： [電話] (平日 10～15 時) 0798-45-6210</p>